

令和5年3月16日
第31回協議会

資料3

令和4年度自然再生協議会 全国会議について

＜日 時＞

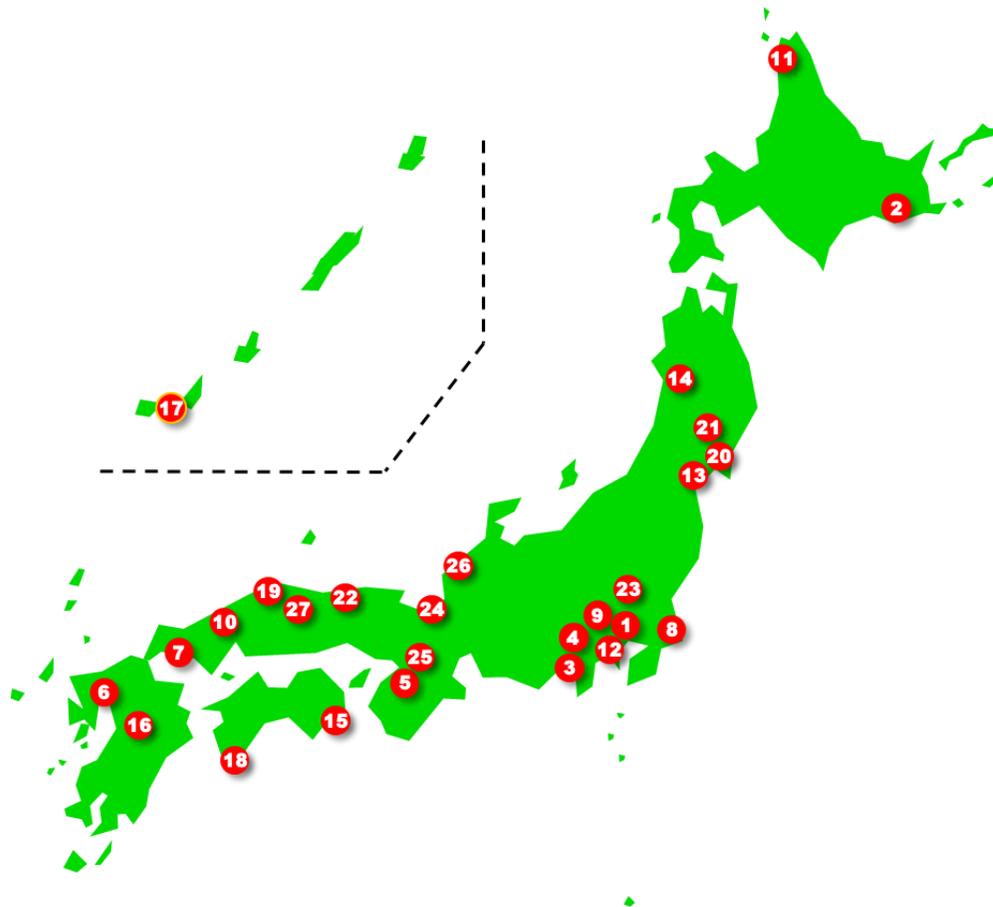
令和5年1月24日（火）

＜参加者＞

石西礁湖自然再生協議会メンバー17名

自然再生協議会全国会議とは？

全国の自然再生協議会メンバーが集まり、活動状況の共有や課題等の意見交換をすることで、各協議会における取組の推進につなげる。



①	荒川太郎右衛門地区自然再生協議会	平成15年7月5日
②	釧路湿原自然再生協議会	平成15年11月15日
③	麻機遊水地保全活用推進協議会	平成16年1月29日
④	多摩川源流自然再生協議会	平成16年3月5日
⑤	神於山保全活用推進協議会	平成16年5月25日
⑥	檜原湿原地区自然再生協議会	平成16年7月4日
⑦	樺野川河口域・干潟自然再生協議会	平成16年8月1日
⑧	霞ヶ浦田村・沖宿・戸崎地区自然再生協議会	平成16年10月31日
⑨	くぬぎ山地区自然再生協議会	平成16年11月6日
⑩	八幡湿原自然再生協議会	平成16年11月7日
⑪	上サロベツ自然再生協議会	平成17年1月19日
⑫	野川第一・第二調節池地区自然再生協議会	平成17年3月28日
⑬	蒲生干潟自然再生協議会	平成17年6月19日
⑭	森吉山麓高原自然再生協議会	平成17年7月19日
⑮	竹ヶ島海域公園自然再生協議会	平成17年9月9日
⑯	阿蘇草原再生協議会	平成17年12月2日
⑰	石西礁湖自然再生協議会	平成18年2月27日
⑱	竜串自然再生協議会	平成18年9月9日
⑲	中海自然再生協議会	平成19年6月30日
⑳	伊豆沼・内沼自然再生協議会	平成20年9月7日
㉑	久保川イーハートーブ自然再生協議会	平成21年5月16日
㉒	上山高原自然再生協議会	平成22年3月21日
㉓	多々良沼・城沼自然再生協議会	平成22年4月10日
㉔	三方五湖自然再生協議会	平成23年5月1日
㉕	高安自然再生協議会	平成26年1月14日
㉖	北潟湖自然再生協議会	平成30年11月24日
㉗	蒜山自然再生協議会	令和4年1月20日

開催概要

■開催場所

午前の部: 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

午後の部: 竹富町役場

※天候不良のため現地視察は中止となりました。

■スケジュール(9:00~17:15)

午前の部:

1. 開会挨拶・出席者紹介
2. サンゴ種苗育成解説(水槽・動画)/館内案内

(昼食)

午後の部:

3. 石西礁湖自然再生協議会の活動の報告
4. 他の協議会からの話題提供
5. グループ別意見交換
6. 関係省庁からの話題提供
7. 閉会挨拶

■参加者 計47名

・ 自然再生協議会	:	19協議会	22名
・ 協議会設立を目指す団体	:	1団体	1名
・ 石西礁湖自然再生協議会委員	:	11団体	17名
・ オブザーバー	:		1名
・ 関係省庁	:		2名
・ 事務局	:		4名

(参考)石西礁湖自然再生協議会の概要

対象地域：沖縄県

再生課題：サンゴ群集の再生

石西礁湖自然再生協議会

再生 目標

長期目標（達成期間：2037年）

1972年の国立公園指定時の豊かなサンゴ礁生態系を取り戻す。



事務局

環境省沖縄奄美自然環境事務所
内閣府沖縄総合事務局開発建設部
港湾空港技術対策官

対象地域

沖縄県石垣市、八重山郡竹富町
（西表石垣国立公園内）

構成員数：122人

○ 協議会：H18. 2. 27 設立

○ 全体構想：H19. 9. 1 策定

○ 実施計画：H20. 6. 13 策定

（石西礁湖／環境省）
（R1. 9現在）



マンタ



カクレクマノミ



石西礁湖は、八重山諸島の石垣島と西表島の間に位置する我が国最大のサンゴ礁海域であり、ダイビング、漁業活動等、多様な利用がなされている海域であり、地域社会に対して大きな役割を果たしています。

陸域からの環境負荷、海水温の上昇等によるサンゴの白化現象、大量発生したオニヒトデによる食害等により、国立公園指定時に比べサンゴ礁生態系が大きく衰退していることから、サンゴ群集の再生に向けた取組を進めてきました。

2017年に短期目標の達成期間を迎え、全体構想策定後10年間の取組状況を検証しました。そして、2019年6月には今後5年間の行動計画を策定し、再生に向けた取組を進めていきます。

自然再生の手法

- サンゴ群集のモニタリングや修復
- 陸域からの環境負荷の低減
- 普及啓発や環境教育の実施



サンゴ群集モニタリング



赤土流出状況

サンゴ種苗育成解説(水槽・動画)/館内案内

八重山漁協サンゴ種苗生産部会による
サンゴ種苗育成解説(水槽)



八重山漁協サンゴ種苗生産部会による
サンゴ種苗育成解説(動画)



石垣自然保護官事務所による
館内案内



石西礁湖自然再生協議会の活動の報告

石垣市 中山市長の挨拶



土屋会長による石西礁湖自然再生協議会の概要説明



沖縄奄美自然保護官事務所による環境省の活動報告



沖縄総合事務局による竹富南航路の環境への取組み報告



石西礁湖自然再生協議会の活動の報告

石垣市環境課による持続可能な環境資源の利活用に関する活動報告



竹富町自然観光課による西表島周辺海域におけるエコツーリズムの活動報告



大堀委員によるサンゴガーディアンズクールに関する活動報告



鷺尾委員による石西礁湖サンゴ礁基金の活動報告



他の協議会からの話題提供

「荒川太郎右衛門地区自然再生協議会」 による取組み報告



<自然再生対象地域>

荒川中流域にある太郎右衛門橋下流4km

<取組み内容>

企業と教育機関等で、相互にメリットのある連携体制をとっており、協議会運営の継続的な関係構築をしている。

「河北潟自然再生協議会」 による取組み報告



<自然再生対象地域>

石川県中部に位置する潟湖

<取組み内容>

河北潟の自然環境と水質を向上させるため、協議会に多数の市民グループが参加している。

グループ別意見交換

- ・概要:参加者を3つのグループに分けて実施
3つのテーマについて意見交換を実施・・・100分
意見交換後に各班で発表・・・・・・・・・・15分

・意見交換テーマ

- ① 若い参加者(新たな参加者)を増やすための工夫
- ② 様々な立場の団体が参入するメリットと課題解決について
- ③ 一般に向けた自然体験活動の実施の工夫と課題解決について

グループ別意見交換状況



関係省庁からの話題提供/閉会挨拶

環境省自然環境局による生物多様性に係る主な動き（30by30, OECM）に関する話題提供



自然再生専門家会議守山委員による総評



竹富町 大浜副町長の挨拶



吉田副部長による閉会挨拶



(参考) 自然再生基本方針 令和元年12月

1. 自然再生の推進に関する基本的方向

- (1) わが国の自然環境を取り巻く状況
- (2) 自然再生の方向性
 - ア. 自然再生事業の対象
 - イ. 地域の多様な主体の参加と連携
 - ウ. 科学的知見に基づく実施
 - エ. 順応的な進め方
 - オ. 自然再生の継続実施
 - カ. 自然再生後の自然環境の扱い
 - キ. 自然再生の役割
 - ク. その他自然再生の実施に必要な事項

2. 自然再生協議会に関する基本的事項

- (1) 協議会の組織化
- (2) 協議会の運営

3. 自然再生全体構想及び自然再生事業実施計画の作成に関する基本的事項

- (1) 科学的な調査及び評価の方法
- (2) 全体構想の内容
- (3) 実施計画の内容
- (4) 情報の公開
- (5) 全体構想及び実施計画の見直し

4. 自然再生に関して行われる自然環境学習の推進に関する基本的事項

- (1) 自然環境学習への活用の重要性
- (2) 実地に学ぶ場としての活用
- (3) 人材の育成
- (4) 持続可能な開発のための教育(ESD)
- (5) 自然環境学習プログラムの整備
- (6) 情報の共有と提供

5. その他自然再生の推進に関する重要事項

- (1) 国・地方自治体等の役割
 - ア. 自然再生推進会議・自然再生専門家会議
 - イ. 調査研究の推進
 - ウ. 情報の収集と提供
 - エ. 普及啓発
 - オ. 協議会の支援
- (2) 自然再生の推進に関する重要事項
 - ア. 地域循環共生圏の構築の取組
 - イ. 地域の産業と連携した取組
 - ウ. SDGs達成に向けた取組
 - エ. 気候変動対策の取組
 - オ. 東日本大震災等自然災害の経験を踏まえた自然再生
 - カ. 生態系ネットワークの形成
 - キ. 自然再生における希少種の保全及び外来種対策
 - ク. 全国的、広域的な視点に基づく取組の推進
 - ケ. 小さな自然再生の推進